

おかめが池の人魚にんぎょ

むかし、ひとりのさむらいが、馬に乗って旅をしていました。

おかめが池のほとりを通りかかると、むこうから、きれいな女が子どもを抱だいて歩いてきました。女はさむらいに、

「水あびをしたいので、そのあいだ、この子を抱だいていてくださいませんか」といいました。そして、さむらいに子どもをわたし、ザッパーンと池にとびこみました。さむらいがびっくりして見ると、女は、腰こしから下が魚いしになって泳いでいました。女は、そのまま水の底そこ深く消きえてしまいました。

侍は肝きんをつぶしました。そして、抱かいている子どもをふと見ると、子どもは冷つめたい石いしになっなっていたそうです。

おしまい。

原話…『大和の伝説（増補版）』高田十郎

再話…村上郁